

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第21期第3四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	GMOクラウド株式会社
【英訳名】	GMO CLOUD K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 青山 満
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町26番1号セルリアンタワー
【電話番号】	(03)6415 - 6100(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役ソリューションサービス事業統括 兼コーポレート部門統括 関野 倫 有
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町26番1号セルリアンタワー
【電話番号】	(03)6415 - 6100(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役ソリューションサービス事業統括 兼コーポレート部門統括 関野 倫 有
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第3四半期連結 累計期間	第21期 第3四半期連結 累計期間	第20期
会計期間	自平成24年1月1日 至平成24年9月30日	自平成25年1月1日 至平成25年9月30日	自平成24年1月1日 至平成24年12月31日
売上高(千円)	7,031,812	7,497,083	9,409,272
経常利益(千円)	742,513	710,383	971,763
四半期(当期)純利益(千円)	404,453	375,314	523,255
四半期包括利益又は包括利益(千円)	405,063	618,698	685,982
純資産額(千円)	4,156,190	4,845,975	4,437,109
総資産額(千円)	7,157,193	7,765,266	7,549,899
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	3,438.12	3,223.87	4,503.33
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	58.0	61.7	58.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	955,323	794,959	1,339,436
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	546,064	1,109,215	711,482
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	324,421	380,692	372,743
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残 高(千円)	3,100,445	2,942,314	3,394,332

回次	第20期 第3四半期連結 会計期間	第21期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	1,191.11	929.24

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第20期第3四半期連結累計期間、第21期第3四半期連結累計期間および第20期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについても重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は締結されておられません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により円安・株高が進み、一部業種では業績回復基調にあることや、2020年のオリンピック開催地に東京が決まるなど先行きに明るい兆しが見えてまいりました。しかし一方では、先進諸国経済の減速や欧州財政危機などによる海外景気に対する不安感、そして消費税率増加に伴う国内景気等の下振れ要因など、依然として楽観できない状況が続いております。

当社グループの事業分野であるインターネットサービス市場においては、市場規模の拡大は続いているものの、競合企業の台頭や、新たなサービスの市場投入も続いており、お客さまのサービス利活用の選定にはこれまでと同様に厳しい目が向けられています。このような市場環境において、先進的な技術力だけではなく、お客さまのニーズを核にした付加価値の高いサービスを展開していくことが肝要であると認識しております。

このような事業環境の中、ホスティングサービス事業においては、機動戦士ガンダムの「マチルダ中尉」をクラウド・ホスティングサービスブランド「GMOクラウド」のイメージキャラクターに採用し、商品訴求に取り組みははじめました。また、セキュリティサービス事業においては、引き続きグローバルでのシェア拡大を目指して代理店数の増加、販路拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は7,497,083千円（前年同期比6.6%増）、営業利益は746,337千円（前年同期比1.7%増）、経常利益は710,383千円（前年同期比4.3%減）、四半期純利益は375,314千円（前年同期比7.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ホスティングサービス事業

ホスティングサービス事業においては、機動戦士ガンダムの「マチルダ中尉」をクラウド・ホスティングサービスブランド「GMOクラウド」のイメージキャラクターに採用し、商品訴求に取り組みはじめました。当社は、これまで特定のイメージキャラクターを起用しておらず、今回のキャラクター起用により当社サービスの「快適さ」と「安心さ」をより訴求していきたいと考えております。また、4月より展開を開始したオンラインゲーム開発エンジン「Photon Cloud」に対する引き合いは強く、順調にアカウント登録者を増やしております。今回のようなある分野に特化した付加価値の高いサービスを数多く提供していくことで、他社クラウドサービスとの差別化を図ってまいります。

一方で従来のホスティングサービスにおいては、サービス及び価格の競争が激しくなっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるホスティングサービス事業の売上高は4,872,673千円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益は333,310千円（前年同期比31.1%減）となりました。

#### セキュリティサービス事業

セキュリティサービス事業においては、引き続き日本・海外ともに順調に販売代理店を拡大してまいりました。堅調な海外市場においては、マレーシアの大手のホスティング会社をパートナープログラムに迎え、またサービス面においては、Auto Enrollment Gateway (AEG)の提供を始めるなど、当第3四半期連結累計期間においても着実に世界市場での認知を高めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるセキュリティサービス事業の売上高は2,065,223千円（前年同期比30.0%増）、セグメント利益は358,947千円（前年同期比61.9%増）となりました。

#### ソリューションサービス事業

WEBソリューションサービスにおいては、これまでの札幌、仙台、新潟、静岡の4拠点に加え、11月に金沢に5つ目の拠点を開設するにあたり、7月よりテストマーケティングを実施するなどの準備を進めてまいりました。

翻訳サービスにおいては、価格改定を行い、完全従量課金に変更いたしました。この結果、1文字単位での課金となり、より多くのお客さまが今まで以上に気軽に翻訳サービスをご利用できる体制を構築いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるソリューションサービス事業の売上高は641,888千円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益は17,912千円（前年同期比50.6%減）となりました。

セグメント利益については、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## (2) 財政状態の分析

### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、4,379,474千円となり、前連結会計年度末に比べ453,579千円減少しております。主な増減要因は、現金及び預金の減少552,017千円、売掛金の増加165,424千円であります。

### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、3,385,792千円となり、前連結会計年度末に比べ668,946千円増加しております。主な増減要因は、投資有価証券の増加769,590千円であります。

### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、2,503,877千円となり、前連結会計年度末に比べ195,598千円減少しております。主な増減要因は、未払法人税等の減少252,931千円、リース債務の増加36,400千円であります。

### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、415,413千円となり、前連結会計年度末に比べ2,100千円増加しております。主な増減要因は、リース債務の増加43,510千円、長期借入金の減少42,800千円であります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、4,845,975千円となり、前連結会計年度末に比べ408,866千円増加しております。主な増減要因は、四半期純利益375,314千円及び支払配当金209,550千円を計上したこと等による利益剰余金の増加165,481千円、為替換算調整勘定の増加191,844千円、少数株主持分の増加49,137千円であります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末において現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ452,017千円減少し、2,942,314千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、794,959千円（前年同期比16.8%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益707,680千円より減価償却費435,833千円を調整し、法人税等の支払により512,661千円を支出したこと等によるものです。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、1,109,215千円（前年同期比103.1%増）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出752,321千円、有形固定資産の取得による支出213,462千円によるものです。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、380,692千円（前年同期比17.3%増）となりました。これは主に配当金の支払による支出209,870千円等によるものです。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	343,600
計	343,600

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	116,930	116,930	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度は採用していません。
計	116,930	116,930		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1 日~ 平成25年9月30日	-	116,930	-	916,900	-	1,005,648

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 513		
完全議決権株式（その他）	普通株式 116,417	116,417	
単元未満株式			
発行済株式総数	116,930		
総株主の議決権		116,417	

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
GMOクラウド株式会社	東京都渋谷区 桜丘町26-1	513		513	0.44
計		513		513	0.44

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,554,332	3,002,314
売掛金	898,235	1,063,660
前払費用	188,362	153,833
繰延税金資産	47,887	14,514
その他	159,161	166,844
貸倒引当金	14,924	21,693
流動資産合計	4,833,053	4,379,474
固定資産		
有形固定資産		
建物	53,811	56,052
減価償却累計額	19,588	24,267
建物(純額)	34,222	31,785
工具、器具及び備品	1,116,234	1,301,022
減価償却累計額	795,558	873,838
工具、器具及び備品(純額)	320,676	427,183
リース資産	588,820	785,051
減価償却累計額	130,997	253,425
リース資産(純額)	457,823	531,625
有形固定資産合計	812,722	990,594
無形固定資産		
のれん	668,486	429,852
ソフトウェア	512,388	423,955
その他	110,470	104,477
無形固定資産合計	1,291,346	958,285
投資その他の資産		
投資有価証券	205,857	975,447
関係会社株式	123,007	148,653
匿名組合出資金	73,498	82,409
長期前払費用	8,316	10,689
敷金及び保証金	125,824	136,083
繰延税金資産	51,682	37,774
その他	24,589	45,852
投資その他の資産合計	612,776	1,436,911
固定資産合計	2,716,845	3,385,792
資産合計	7,549,899	7,765,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	188,011	233,729
未払金	380,452	360,263
1年内返済予定の長期借入金	52,800	51,600
前受金	1,430,244	1,447,383
リース債務	142,614	179,015
未払法人税等	294,837	41,905
未払消費税等	53,515	59,976
賞与引当金	26,613	5,250
役員賞与引当金	28,818	-
販売促進引当金	1,170	1,348
その他	100,397	123,403
流動負債合計	2,699,476	2,503,877
<b>固定負債</b>		
長期借入金	42,800	-
リース債務	324,283	367,794
繰延税金負債	15,547	17,304
その他	30,682	30,315
固定負債合計	413,313	415,413
<b>負債合計</b>	<b>3,112,789</b>	<b>2,919,291</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	916,900	916,900
資本剰余金	1,005,648	1,005,648
利益剰余金	2,709,332	2,874,814
自己株式	38,936	38,936
株主資本合計	4,592,944	4,758,426
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	2,573	10,698
繰延ヘッジ損益	5,740	17
為替換算調整勘定	172,993	18,850
その他の包括利益累計額合計	164,679	29,566
少数株主持分	8,844	57,982
<b>純資産合計</b>	<b>4,437,109</b>	<b>4,845,975</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>7,549,899</b>	<b>7,765,266</b>

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,031,812	7,497,083
売上原価	2,985,813	3,059,878
売上総利益	4,045,998	4,437,204
販売費及び一般管理費	3,312,323	3,690,867
営業利益	733,674	746,337
営業外収益		
受取利息	1,319	9,782
為替差益	2,005	-
匿名組合投資利益	10,480	-
その他	4,209	3,111
営業外収益合計	18,014	12,893
営業外費用		
支払利息	7,521	12,513
匿名組合投資損失	-	14,115
為替差損	-	22,218
その他	1,654	0
営業外費用合計	9,175	48,847
経常利益	742,513	710,383
特別利益		
保険差益	6,063	-
その他	221	-
特別利益合計	6,285	-
特別損失		
固定資産除却損	19,098	2,702
特別損失合計	19,098	2,702
税金等調整前四半期純利益	729,700	707,680
法人税、住民税及び事業税	339,472	235,847
法人税等調整額	19,370	47,711
法人税等合計	320,101	283,558
少数株主損益調整前四半期純利益	409,599	424,122
少数株主利益	5,145	48,807
四半期純利益	404,453	375,314

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	409,599	424,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,874	9,163
繰延ヘッジ損益	1,408	5,722
為替換算調整勘定	7,001	191,134
その他の包括利益合計	4,535	194,576
四半期包括利益	405,063	618,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399,917	569,560
少数株主に係る四半期包括利益	5,145	49,137

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	729,700	707,680
減価償却費	360,519	435,833
のれん償却額	250,899	249,365
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,198	6,497
賞与引当金の増減額(は減少)	30,378	21,601
役員賞与引当金の増減額(は減少)	16,962	29,007
販売促進引当金の増減額(は減少)	3,335	177
受取利息	1,320	9,782
匿名組合投資損益(は益)	10,480	14,115
支払利息	7,521	12,513
為替差損益(は益)	3,285	4,160
固定資産除却損	19,098	2,702
保険差益	6,063	-
売上債権の増減額(は増加)	83,215	88,284
前払費用の増減額(は増加)	8,043	46,542
その他の流動資産の増減額(は増加)	3,168	16,718
長期前払費用の増減額(は増加)	50,574	2,091
仕入債務の増減額(は減少)	21,285	7,053
未払金の増減額(は減少)	46,280	31,424
前受金の増減額(は減少)	91,104	15,886
未払消費税等の増減額(は減少)	38,068	15,932
預り金の増減額(は減少)	5,979	1,968
その他の流動負債の増減額(は減少)	4,403	14,081
小計	1,285,124	1,310,902
利息の受取額	922	9,232
利息の支払額	7,521	12,513
保険金の受取額	6,898	-
法人税等の支払額	330,101	512,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	955,323	794,959
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	260,024	-
定期預金の払戻による収入	60,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	110,118	213,462
無形固定資産の取得による支出	157,305	96,289
投資有価証券の取得による支出	-	752,321
子会社株式の取得による支出	51,408	93,549
匿名組合出資金の払込による支出	-	25,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	66,967	-
貸付けによる支出	10,177	18,142
貸付金の回収による収入	16,028	-
その他	33,909	10,448
投資活動によるキャッシュ・フロー	546,064	1,109,215

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	39,600	44,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	66,335	126,822
株式の発行による収入	13,650	-
配当金の支払額	232,136	209,870
財務活動によるキャッシュ・フロー	324,421	380,692
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	87,129	509,202
現金及び現金同等物の期首残高	2,978,980	3,394,332
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	34,334	57,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 3,100,445	<sup>1</sup> 2,942,314

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間より、GMO CLOUD PTE.LTD.は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

(会計方針の変更)

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【会計上の見積りの変更】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	3,360,470千円	3,002,314千円
預入期間が3か月を超える定期預金	260,024	60,000
現金及び現金同等物	3,100,445	2,942,314

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月22日 定時株主総会	普通株式	232,054	2,000	平成23年 12月31日	平成24年 3月23日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月22日 定時株主総会	普通株式	209,550	1,800	平成24年 12月31日	平成25年 3月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	ホスティング サービス事業	セキュリティ サービス事業	ソリュー ションサー ビス事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,921,676	1,539,756	570,378	7,031,812	-	7,031,812
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	49,695	48,871	3,817	102,384	102,384	-
計	4,971,372	1,588,628	574,196	7,134,197	102,384	7,031,812
セグメント利益	483,826	221,740	36,265	741,832	680	742,513

(注)1 セグメント利益の調整額680千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	ホスティング サービス事業	セキュリティ サービス事業	ソリュー ションサー ビス事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,849,648	2,013,687	633,747	7,497,083	-	7,497,083
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	23,024	51,536	8,141	82,701	82,701	-
計	4,872,673	2,065,223	641,888	7,579,785	82,701	7,497,083
セグメント利益	333,310	358,947	17,912	710,171	211	710,383

(注)1 セグメント利益の調整額211千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3,483円12銭	3,223円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	404,453	375,314
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	404,453	375,314
普通株式の期中平均株式数(株)	116,118	116,417

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

GMOクラウド株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松野 雄一郎 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡田 雅史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているGMOクラウド株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、GMOクラウド株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。